栃木医療センター

No,34　2018　April

理　念

信頼　貢献　協働

Contents

- ヤギによる除草の終了について ……1
- BLS研修 ……2
- 入院サポートセンター ……3
- 部門紹介（ME） ……4
- 連携医紹介（医療法人　しみずファミリークリニック）…5
- 補助犬・手洗い講習 ……6

独立行政法人国立病院機構　栃木医療センター　広報誌

“ヤギによる除草の終了について”

当院では平成 29 年5月 10 日（水）より、約6ヶ月の間やぎによる除草を実施しておりましたが、11月9日（木）付けで期間満了に伴い、終了することになりました。

つきましては、３頭のヤギ達は、牧場に帰ることとなります。

短い間でしたが、大変お世話になりました。

半年の間に随分慣れてきて、人を見かけると駆け寄ってくるようになり、お別れするのは辛いところですが、牧場で元気に過ごして欲しいです。

半年間、温かく見守って下さり、ありがとうございました。

なお、平成 30 年度もヤギ達にお願いする事が決まりました。

また、かわいがって下さい。

ヤギによる除草の効果について

半年間病院東側の土地について、３頭のヤギを放牧した結果、除草を行っていない場所との差は、以下のとおりとなりましたので報告します。

職員が１回除草：
１メートル前後まで
育っている

左：ヤギによる
除草区域
右：未除草区域

参考

１頭あたりの除草量
５～６㎏ /1 日×３頭×６ヶ月
＝ 2,760 ㎏～ 3,312 ㎏
干し草ロール約 9.5 個分

沢山食べたよ！！

栃木医療センター
心肺蘇生推進チーム（ＢＬＳ）活動について

心肺蘇生推進チーム　武田　文月

当院では、2013年から『心肺蘇生推進チーム』を立ち上げ、医師や看護師に限らず院内の全職員を対象にＢＬＳ研修を定期的に開催しています。

初めは、看護師ばかりの参加状態でしたが、徐々に啓蒙活動が院内に広がり、現在は事務職を含めた全部署に、ＢＬＳ取得者がいる状態となりました。

看護部は、教育看護師長をはじめとした、教育委員会と協力して、ＡＣＴｙナース（看護職員能力開発プログラム）の看護教育計画に応じて、ＢＬＳ研修を実施しています。その他の部署においては、チームメンバーが各部署内で教育計画の立案から実施・評価を行い、知識・技術の維持に努めることや、院内ＢＬＳ研修への定期的な参加を促しています。今年度からは、ＢＬＳインストラクター取得者が研修の際にインストラクションを行い、技術の標準化を図っています。

毎月第２水曜日は『心肺蘇生推進チーム委員会』を開催し、全部署のメンバーが集まり、現状報告や教育の進行状況等の報告をおこなっています。

また、院内の救急体制の整備を図り「救急院内コール109」とし、院内のどこから・誰がコールをしても、職員が集合し救急対応ができる体制が整ってきました。

今後も、『心肺蘇生推進チーム』が中心となり、各部署の垣根を越えて院内の職員として、急変時対応が行えるように、啓蒙活動をおこない、知識・技術の維持や標準化に努めていきたいと思っています。

入院サポートセンターについて

当院は、地域の医療に貢献し高度医療を提供する急性期病院として、１日に約30人の新規入院患者さんを受け入れています。その入院患者さんの受け入れをスムーズに行い、安心して安全に治療を受け、かつ快適な入院生活を送ることができるよう、従来の「総合入院案内」を一新して、平成29年８月より「入院サポートセンター」を設置しました。職員はMSW１名、看護師２名、事務助手２名で構成しており、異なる医療職種が一つの部署で業務を行い、様々な方面から治療の説明、申請書類や制度の説明を行い、入院患者さんの窓口となっている部署です。患者さんとの相談スペースは全部で５ブース設置し、うち２ブースは消音パネルを使用して、出来る限り患者さんのプライバシーを確保できるように改装しました。従来の総合入院窓口で行ってきた「入院説明」「書類確認」といった画一的な事務受付ではなく、新設した入院サポートセンターでは、患者さんの入院に関する不安を少しでも解消するために、事前準備から入院生活、退院、お支払いまでの流れについて懇切丁寧に案内しております。入院サポートセンターの主な業務内容は下記のとおりです。

- 入院に必要な各種手続き・必要物品及びその他の入院準備についての説明
- 入院時に必要な患者基本情報の収集及び患者基本情報の病棟との連携
- 入院に必要な書類等の準備サポート
- 入院費・限度額適用認定書の説明
- 特別療養環境室（差額ベッド）の案内
- 入院生活の説明
- 入院当日の案内
- その他入院に関する相談

設置後の効果として、入院時に必要な患者基本情報の収集を行うことにより、従来、当日病棟看護スタッフが行っていた患者基本情報収集の時間を削減することが可能となり、削減した分、入院患者に手厚い看護を提供できるようになりました。また、入院患者さんとしては、病棟で行われていた基本情報の聴取や問診の時間が無くなることにより、スムーズに入室できるメリットが確認できました。

今後の入院サポートセンターとしては、「退院支援」「入院前の薬相談」「手術・麻酔スクーリニング」等が総合的に支援できるよう入院サポートの拡充を目指しています。それには人員・場所・利便性や安全性、地域医療連携を考慮し、組織横断で検討していく必要があると考えます。まだまだ１年も経過していない出来立ての入院サポートセンターですが、スタッフ一同、患者さんに安全で安心した入院生活が送れるよう支援してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

臨床工学技士のご紹介

臨床工学技士とは

医師の指示の下、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行う事を業とする医療機器の専門医療職種です。一般的にはMEとかCE（Clinical Engineer）と呼ばれています。今後も増大する医療機器の安全確保と有効性維持の担い手として医療に貢献する事が期待されています。

当院では

３名の臨床工学技士が医療安全管理室に所属しており、機器の安全操作、機器の保守点検はもちろん、他の医療従事者へ安全使用の為の研修なども行っています。

主な仕事

1）機器の保守点検業務

どのような機器でも劣化していく消耗品であり、半永久的に性能が維持できる機器は存在しません。機器の不具合発生防止や劣化兆候等を早めに発見・対策するために、製造販売元等で行われる研修会に参加し、院内で点検整備を行える体制作りを積極的に行っています。

2）臨床支援業務

人工呼吸器関連業務では、各機器の保守管理、機器やモード選択時の相談対応、設定についての進言、医師や看護師に対する操作説明などを行っています。

血液浄化関連業務では、個人用多用途透析装置と血液浄化用装置が各１台あり、緊急血液透析、エンドトキシン吸着、持続的血液濾過透析、白血球除去療法、腹水ろ過濃縮再静注法などの各種血液浄化療法を行っています。

心・血管カテーテル関連業務では、心臓カテーテル検査・治療業務に必要なポリグラフシステム、血管内超音波装置の操作や急変時に使用する補助循環装置・体外式ペースメーカの保守管理を行っています。

3）教育・研修業務

毎年４月に行われる新採用者オリエンテーションでは、医療ガスや電気設備の仕組みや安全使用の為の説明をしています。人工呼吸器や輸液ポンプ、その他の機器の勉強会は、部署毎で開催し各部署のニーズに合った効率的な勉強会を行うよう心がけています。

臨床工学技士としての役割

現在の医療現場において医療従事者は、それぞれの立場で何らかの医療機器を使用しています。また今後は、在宅において使用される医療機器が増えると予想されます。その様な状況の中で我々臨床工学技士は、工学系の知識を有する医療専門職として、医療機器の安全で効率的な運用を推進していくとともに、医療機器を通して組織横断的に活動し医師や看護師などの医療従事者間、医療従事者と患者間の良好なコミュニケーションを築くための手助けとなることで、チーム医療に貢献していきたいと考えています。

連携医紹介

医療法人　しみずファミリークリニック

院長　清水　正之

当院は宇都宮市越戸にて平成18年に開業し、今年で、13年目となります。

現在昨年度より清水、柳澤医師二人体制で診療を行っており、内科、外科、小児外科、小児科、放射線科を標榜しております。

私は自治医大を卒業し、へき地医療勤務の後、宇都宮市にて開業しました。専門領域は総合内科専門医として内科全般と放射線画像診断を得意としております。

柳澤医師は一般外科および小児外科専門医として自治医大義務年限後に自治医大小児外科に勤務の後、当クリニックに参加して頂いております。おもに消化器系および小児外科全般を得意としております。

私たちはへき地では外来、入院、在宅医療を同時に行う機会を得ることができ、大変貴重な体験をさせて頂きました。またへき地診療所では地域のコメディカルとも連携し、包括的な地域医療、地域包括ケアにも参加させて頂きました。そのような経験を元に当院では子供からお年寄りまで、家族全員でかかれるかかりつけクリニックを目指しております。

生活習慣病予防を中心に子供の予防医学から高齢者の介護予防まで広く診療させて頂いております。

開業してから、日々重要だと思う事は日頃の患者さんとの信頼関係、早期の正確な診断、そして後方支援病院への適切な紹介であると思っております。自分の診断が正しく、患者さんが後方病院から退院されて、元気に帰って来た時に、本当によかったと思います。また後日頂く退院サマリーや返書は私たちにとっての勉強の宝物です。

常日頃から栃木医療センター様にも患者さんを受け入れて頂き心より感謝しております。当院では16列マルチスライスＣＴを平成27年から導入し、早期に呼吸器系の疾病や肺炎、肺癌の検査、および頭部、腹部の疾患の早期診断を行っております。以前より格段に高度な診断が可能となりました。また昨年からは柳澤医師の参加により上部内視鏡および一般外科処置、小外科なども行っており、ＣＴ導入後虫垂炎や重症大腸憩室炎などの診断も可能となり、内科だけでなく、外科との連携も今後増えてくると思われます。

少子高齢化の中で益々後方支援病院との連携、地域の医療試験との連携が重要と感じる今日この頃です。貴院の発展を心よりお祈り申し上げるとともに、お互いに連携医療機関として地域医療に貢献できることを願っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

ご案内

〒321－0951
栃木県宇都宮市越戸3－15－27
診療科目　内科、外科、小児科、アレルギー診療、放射線科
電　　話　028－683－1011
ホームページ　http://shimizufamilyclinic.com/

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	休診
15:00～19:00	○	○	○	○	○	○	休診

【休診】日曜・祝日

「栃木医療センターでは補助犬同伴の患者さんを受け入れています」

■「補助犬」とは？

みなさんは「補助犬」という言葉をご存知でしょうか。「補助犬」とは、よく知られている「盲導犬」を含む３種類の働く犬たちの総称です。

・盲導犬：目の見えない方、見えにくい方の外出時の移動をサポートします。
・聴導犬：耳が聞こえない方、聞こえにくい方の日常生活をサポートします。
・介助犬：手足に障害がある方の日常生活をサポートします。

《盲導犬》

《聴導犬》

《介助犬》

平成14年に施行された「身体障害者補助犬法」では、病院を含む不特定多数の人が利用する施設においては、原則として「補助犬」を同伴する方（補助犬ユーザーといいます）の受け入れを拒んではならないことが明記されました。医療機関に通院する機会が多い補助犬ユーザーにとって、安心して医療機関を利用できることは、日常生活を送る上で重要な問題となります。

■補助犬受け入れのための取り組み

私たち栃木医療センターでも、補助犬ユーザーを円滑に受け入れることができるように取り組んでおります。その一環として、昨年11月に公益財団法人東日本盲導犬協会より講師をお招きし、病院職員を対象とした「補助犬受け入れ研修」を開催いたしました。

「補助犬受け入れ研修」の様子

ＰＲ犬のシェルビーくん

■一般の患者さんへのお願い

病院内でお仕事中の補助犬を見かけた場合には、けしてさわったり声をかけたりしないようにお願いいたします。また、アレルギーや、単純に犬が怖いなどの問題がありましたら、お気兼ねなく医事窓口にお申し出いただきますようお願いします。

地域医療支援公開講座
小学生のための手洗い教室」を実施して

平成30年１月23日
感染防止対策室　丸山沙緒里

看護部では、正しい手洗いの啓発を目的として、宇都宮市内の小学校において小学校１年生を対象とした「手洗い教室」を実施しています。

今年も流行しているインフルエンザ等、社会で伝播していく感染症を予防するには、病院内の対策のみでは不充分であり、社会での啓発活動が重要です。感染対策のなかでも手洗いは感染症の予防において簡便で科学的根拠に基づいた効果的な対策です。手洗い教室は、手洗い方法を学ぶだけではなくどうして手を洗うのか、いつするのかに関しても小学生に理解してもらえる内容で構成しています。

手洗いの演習では、手洗いチェッカーで洗い残しが見えると、歓声とともに、「すごく残っている。」「今までのじゃだめなんだ。」などの感想が聞かれました。授業の最後には、「洗い方が分かったのでお家の人に教えます。」や「楽しかったです。」などの感想が聞かれました。

私たちは、社会活動も実施したことで、地域の方々への教育・啓発活動の理解を深め、医療者としての責任を改めて感じました。この活動で学びや成果を生かして、今後も地域医療支援に寄与していきたいと考えます。

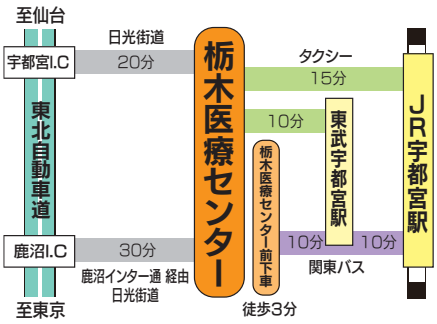
病院祭について

開催日時：

平成30年6月9日土曜日　11：00～13：30

市民公開講座と各部署による展示や体験を予定しています。

交通のご案内



発行人

独立行政法人国立病院機構
栃木医療センター
院長　長谷川　親太郎

〒320-8580
栃木県宇都宮市中戸祭1-10-37
TEL. 028-622-5241
FAX. 028-625-2718
URL. http://www.tochigi-mc.jp/

UD Universal Design Font
◎本冊子はユニバーサルデザインフォントを使用しています。
※ユニバーサルデザインフォント…年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、
さまざまな人が読みやすく、誤読されにくい書体です。